

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	36_徳島県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
36_徳島県	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	県立学校において、学校運営協議会は1校を除く学校で設置済である。学校運営協議会の充実化、さらには「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、保護者や地域住民と目標や役割分担を共有し、具体的な活動を実施していくことが課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した教育活動の実施 ・学校を核とした地域ネットワークの形成 ・保護者の学校や地域に対する理解の深化 ・地域の協力により、生徒と向き合う時間の創出 	学校・家庭・地域の役割分担を明確にし、具体的な活動を実施することで、地域との協働が進められ、「社会に開かれた教育課程」を実現。	地域人材の活用など、学校運営協議会において、家庭や地域とつながる活動を実施した学校の割合。（アンケート調査）	60	%	70	75	4 <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業等から講師を招き、地域の状況や課題とその解決方法について理解を深めるとともに、勤労と社会貢献の意欲を高めた。 ・学校独自の取組から4つの部会を構成し、地域人材の協力を得て、地域の課題解決に向けて実践することにより、学校を核とした地域ネットワークの形成できた学校も見られた。 ・保護者と学校の相互理解は課題であり、生徒の活動を積極的にホームページに公開する等、理解の深化に努めたい。 ・教員の生徒と向き合う時間の創出は課題であり、学校・家庭・地域の役割分担をより明確にすることで、時間の確保に繋げたい。